

地域公共交通網形成計画（素案）の施策体系方針（案）

地域公共交通網形成計画（骨子案）に抽出された「検討すべき課題」と、これをもとにした「概念図」

5. 地域公共交通網形成計画の方向性

5.1 地域公共交通網形成計画で検討すべき課題

(1) 地域の現況からみた着眼点

- ◇ 人口減少や少子高齢化による利用者の減少を見据えた公共交通サービスの維持

(2) 地域ニーズ（アンケート結果）からみた着眼点

- ◇ 市民やバス利用者から一定の評価※がされている現状の公共交通サービスの維持
- ◇ 地域ニーズの高い市内外の商業施設や鉄道駅（拠点）へのアクセスの充実
- ◇ 地域ごとの多様なニーズや意見に対応する取組みの推進

(3) まちづくりからみた着眼点

- ◇ 人口減少や少子高齢化が進む中での、長期的な定住を支える暮らしやすく住み続けたいまちづくりを支える公共交通の充実
- ◇ 関連計画と連携した、地域・生活拠点、鉄道駅を結ぶ利便性の向上
- ◇ 周辺市との広域連携を見据えた公共交通網の充実

【※ 「一定の評価」に関する補足】

- ① 公共交通に関するアンケート調査
  - ・鉄道駅へのアクセスにあたっては「特に困り事はない」が約6割
  - ・最寄りバス停までは「距離が近く、利用しやすい」が7割以上
- ② バス利用者へのアンケート調査
  - ・鉄道駅の利用にあたって「特に困り事はない」が約5割
  - ・最寄りバス停までは「距離が近く、利用しやすい」が約8割
  - ・鉄道とバスの乗り継ぎでは「特に困り事はない」が約6割

【将来像】

だれもが安心、気軽に利用できる公共交通ネットワークの実現

【基本方針】

高齢化による必要性の高まり

人口減少等によるサービス低下の危機

既存の公共交通サービスを維持する

地域ニーズからみた着眼点

まちづくりからみた着眼点

【方向性】

策定する地域公共交通網形成計画  
= 既存の公共交通サービスをベースとした改善策の明確化  
(利用促進策、周辺市との広域連携の検討 など)

図 地域公共交通網形成計画の基本方針と方向性に関する概念図

計画に反映すべき要素の追加

各関係機関へのヒアリングにより「新たに抽出された方針や課題」

【ヒアリング先】

- 交通事業者
  - 京阪バス・・・「バス路線(タウンくる含む)見直しの必要性」
  - 大阪タクシー協会・・・「交通不便地域の解消」
- 庁内関係課
  - 高齢介護課・・・「交通系ICカード購入補助」
  - 資産活用課・・・「シャトルバスの運用」
  - 障害福祉課・・・「タクシー基本料金助成事業」(社会福祉協議会)
- 北河内6市
  - 交野市・・・「福祉バスの運用事例」
  - 四條畷市・・・「コミバスの運用状況」
  - 守口市・・・「コミバスの運用状況」
  - 大東市・・・「デマンドタクシーの導入状況」
  - 門真市・・・「コミバスの運用状況」
  - 枚方市・・・「枚方市域に係るバス路線再編」

意見等の取り込み

その他寝屋川市において考えられる施策例

【その他寝屋川市において考えられる施策例】

- 鉄道駅やターミナルの整備  
(バスターミナルや、サイクル&ライド駐輪場の整備)
- 都市計画道路の整備(対馬江大利線、東寝屋川駅前線の整備)
- 商業施設との連携(提携店舗での割引等)
- バス待合環境の改善
- バス走行環境の改善
- 地域や学校園との連携  
(バス車内の園児絵画展やラッピングバス運行)

補足

施策体系検討